

9月定例教育委員会会議録

- 1 開催日時 令和6年9月25日(水) 14時54分～15時51分
- 2 開催場所 武雄市役所 4階会議室
- 3 出席者名 教 育 長：松尾教育長
教育委員：大庭教育長職務代理者、牟田委員、田中委員、松尾委員
事 務 局：古賀こども教育部長、野口こども教育部理事、真崎教育総務課長、緒方こども未来課長、徳永こども未来課参事、福田学校教育課長、武富多様な学び支援室長、宮崎学校教育課参事、石橋新しい学校づくり課長、林新しい学校づくり課教育監、朝長生涯学習課長、井手新文化交流拠点整備室長、溝上図書館・歴史資料館長、草津教育総務課長代理、浦郷新しい学校づくり係長
- 4 傍聴者数 なし
- 5 報道関係者 なし
- 6 議事録署名人の指名 【田中委員を指名】
- 7 前回会議録の承認 令和6年8月定例教育委員会会議録
- 8 (1)教育長の報告
 - 1 はじめに
 - ・令和6年度佐賀県教育委員会表彰(朝日小学校) 表彰式11/13(水)13:00 県民ホール
 - ・各地区で伝統芸能の奉納
 - ・秋の運動会・体育大会：9/29橘小、西川登小、東川登小(町民と合同、川登中も参加)
10/20武雄中、山内中
10/27若木小、武内小(町民と合同、武雄北中も参加)
10/27山内東小、山内西小、北方中
 - 2 いよいよ、SAGA2024国スポ・全障スポ大会
 - ・国スポ：総合開会式10/5(土) 13:15～(SAGAスタジアム)
 - ・ゴルフ：10/5～10/7 若木(成年男子) 武雄・嬉野(女子) 武雄(少年男子)
 - ・自転車：10/6～10/9 スプリント、チームスプリント、ケイリン、スクラッチ等
 - ・軟式野球：10/11 ①兵庫-沖縄 ②静岡-広島 ③佐賀-愛知 10/12 2回戦と準決
 - ・国スポ：総合閉会式10/15(火) 13:00～(SAGAアリーナ)
 - ・スポーツウエルネス吹矢(全障スポ オープン競技) 10/20(日) 市民体育館
 - ・全障スポ：総合開会式 10/26(土) 8:50～(SAGAスタジアム)
 - ・全障スポ・総合閉会式 10/28(月) 14:40～(SAGAアリーナ)

3 こども教育会議（11月20日 13時30分～）

- ・不登校対策について
- ・9月議会答弁 令和元年度 小中67名 ⇒ 令和5年度 小中133名(1.98倍)
- ・令和7年度文科省概算要求（不登校対策関係）

4 その他

- ・武雄市連合PTAと武雄市教育委員会との連携・協力に関する協定(10月下旬を予定)
- ・11/29(金) 市町教育委員会研究協議会（福岡市）
- ・今後の教育課程、学習指導及び学習評価等の在り方に関する有識者検討会論点整理(案)
- ・地域スポーツクラブ活動ワーキンググループにおける検討事項(中間・最終での検討事項)

9 議 事【公開】

(1) 報告事項

- ① 令和7年度以降の官民一体型学校の在り方について
- ② 図書館の選書について
- ③ 各課等からの行事報告

10 議 事【非公開】

(1) 提出議案

第14号議案 令和6年度武雄市教育委員会表彰の被表彰者の決定について

11 次回開催日程について

12 その他

13 閉会

午後2時54分 開会

○教育長職務代理者

全員おそろいということで、時間は少し早いですが、皆さんこんにちは。

ちょっとここ数日は朝晩も涼しくなって、今日は雨が降って、また潤いもあるのかなと思ったりもしているところです。

ただいまから令和6年9月の定例教育委員会を始めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

まず、議事録署名人の指名ですが、8月は牟田委員で、9月は田中委員になっています。よろしくお願いいたします。

教育長さんより非公開の議決についてお願いいたします。

○教育長

では、いつものように表紙の裏の面を見ていただきたいと思います。

真ん中ほど、6番、議事の非公開ということで、1件の提出議案を出しております。非公開の理由については公にできないものということで、内容を見ていただければお分かりだと思いますが、非公開にしたいと思っております。

非公開にすることに賛成の委員さんは挙手をお願いいたします〔賛成者挙手〕。

ありがとうございました。では、6番目の議事、提出議案1件については非公開で進めたいと思っております。よろしくお願いいたします。

○教育長職務代理者

ありがとうございました。

それでは、3番、前回会議録の承認ということで、8月の会議録については事前にお渡しされていましたが、追加、訂正等々ございましたら、挙手の上、よろしくお願いいたします。執行部のほうも特にないでしょうか〔「なし」と声あり〕。

ないようでしたら、承認を取ってまいります。

令和6年8月の会議録を承認される教育委員さんは挙手をお願いいたします〔賛成者挙手〕。

ありがとうございました。承認されました。

4番の教育長の報告に移ります。教育長さんお願いします。

○教育長

いつものとおり、1枚のプリントと2種類の資料を準備させていただいています。

では、「はじめに」のところですが、そこにありますとおり、朝日小学校は佐賀県教育委員会の表彰を受けることになりました。11月13日に県民ホールで表彰伝達があります。これについては、第150回の席書会ということで、150回も続いていることが、評価されて表彰を

受けることになっています。

9月22日まで各地区で伝統芸能の奉納がありました。ちょっと雨も心配されましたけれども、どの地区でも子どもたちが元気に伝統芸能を継承している姿を見たところです。まだこの後は北方の七囃子浮立とか今後予定されていますが、一応浮立、あるいは荒踊等が終わったところです。

今度の日曜日から秋の運動会が行なわれます。今度の日曜日が橘、西川登、東川登、町民運動会と合同で行なわれ、あと1か月後に中学校、そして小学校ということで、来月いっぱいまで予定されているところです。その頃になると熱中症の心配もなくなるのじゃないかなと思っています。

そして、いよいよSAGA2024国スポ・全障スポの国スポの総合開会式があと10日後に迫ってきました。10月5日にSAGAスタジアムで総合開会式。そして、その後は武雄市で開かれるものを時系列に書いています。ゴルフが5日から7日、若木、武雄・嬉野、そして武雄カントリークラブと3つの会場で競技が開かれます。

自転車はいろんな種類がありますけれども、6日から9日にかけてスプリントとかチームスプリントとか、そういったものが開かれます。

軟式野球は11日、1回戦3試合が予定されています。兵庫対沖縄、静岡対広島、佐賀対愛知ということで、1回戦が9時、2回戦が11時20分、3回戦が13時40分ということで、その次の日は2回戦の2試合と準決が1試合、3試合開かれることになっているようです。

そして、国スポの総合閉会式がSAGAアリーナで15日に開かれます。それが終わった後、全障スポに替わりまして、開会式の前に、全障スポのオープン競技としてスポーツウエルネス吹き矢が市民体育館で開かれます。この日は、上に書いている武雄中学校と山内中学校の体育大会と同じ日に開かれることになっているようです。

そして、全障スポの総合開会式が10月26日、2日後には閉会式という形で、1か月間にわたって国スポ・全障スポが行なわれますが、既に佐賀、あるいは伊万里で開会前の競技は行われて、新聞にも載っているところです。

3番目は、こども教育会議、もう御案内が来ているかと思いますが、2か月後の11月20日13時半からということで、今回は学校教育課が担当しております不登校対策ということがテーマになっています。この不登校対策については、非常に不登校の児童・生徒が増えている中で、議会でも質問が出ておりまして、9月議会ではこういった質問も出て、令和元年度から令和5年度になって1.98倍に数が増えているということで議会でも答弁をさせていただいたところです。武雄だけでなく、全国的な問題でありますけれども、不登校対策ということで、いろいろ御意見をいただきたいと思っています。

そして、来年度の文科省の概算要求で、不登校対策あたりはどういうのが上げられているか、これは資料を用意しておりませんが、特に今までのスクールカウンセラーとかソーシャ

ルワーカーとかの充実とか、新規で上がっているのが校内教育支援センターの設置の促進ということで、校内教育支援センター、これはいわゆる別室と言われることで、武雄市には3学級あります。武雄中、山内中、そして今年から北方中と、これの設置促進機能事業ということで新規で上げられています。学校には来られるけれども、教室に入られない子どもたちに、別室をつくってこういった対応をしていくと。あるいは学校に来られないというのが教育支援センターと呼ばれますけれども、スクラムのような校外にある支援センターと。これにも予算がついておりますが、学校には来られるけれどもというあたりの支援が追加されているところです。

そういうことで事前に何かこういったことを知りたいということがありましたら、武富指導主事が担当しておりますので、事前に、まだ2か月先のことでありますが、どうぞよろしくをお願いしたいと思います。

その他ですけれども、前回も出しました武雄市連合PTAと武雄市教育委員会の連携・協力協定については、今、市連Pの事務局と連絡調整をしておりますが、10月下旬あたりで日にちを設定して協定を結んでいきたいと思っております。10月の定例教育委員会に報告ができるのかどうかということになりますけれども、10月は供日、流鏝馬の後ぐらいになるかと思いますが、そのあたりを考えているところです。

文科省の会議として、11月29日、市町教育委員会研究協議会ということで、オンラインで6月ぐらいにあったものですが、後期は福岡市で集まってというのがありますが、まだ希望を届ける連絡は来ていないそうです。今後来ると思いますので、担当から連絡をしますので、11月29日、どうされるのかですね。福岡ですから近いところではありますので、行きやすいのかなと思っています。

○教育長職務代理者

はい、2年ぐらい前だったですかね。

○教育長

あとは国の動きとして2種類の資料がありましたので、その次のページに資料を用意しています。

今後の教育課程、学習指導及び学習評価等の在り方に関する有識者検討会論点整理（案）ということで資料がありました。両面印刷でしておりますが、小学校の今の学習指導要領全面実施になって既に5年ぐらいたちます。移行期間の2年を含めて7年近くになりますが、大体学習指導要領の動きは10年ぐらいで新しく変えていくと。ただ、10年もしていたら、ちょっと時代の変化が早過ぎて、10年では遅過ぎるような状況になってきましたけれども、中学校は1年遅れで、3年間の移行期間があって4年経過していますので、これも7年になります。

そういうことで、次の学習指導要領をどうしたらいいのかということで、もう動いている

ようですね。論点整理（案）ということですが、表紙のほうには、こういった1から6項目めまで柱を立てて、これからの社会像とか、これからの子どもたちの教育をどうしていくのかとか、そういうあたりが協議をされている。そのことが「はじめに」のところで幾らか紹介されています。非常に社会が加速度的に変化をしていくという時代で、何を子どもたちの力をつけていくのかということで説明してあります。

次が地域スポーツクラブ活動ワーキンググループにおける検討事項、これも部活動の地域移行ということで、資料が「中間まとめまでに検討する事項」が最初のページです。その後は、今度は「最終取りまとめまでに検討する事項」ということで9項目ぐらいあります。

実はずっと項目は柱が書いてありますが、どこにも「部活動の地域移行」という言葉がないんですね。この地域移行という言葉が学校から地域に放り出したような感じで誤解されているということで、「地域移行」というのは使わない方向で、地域クラブ活動とかいう言葉を使ってありますが、題名から検討していくという意向もあるようです。

今の動きは、出だしは令和5年、6年、7年の3か年ということで強化期間のような感じでしたけれども、だんだん3年間の枠組みが薄まって、できるところからという期間になって、今年度いっぱいはどうにかしなさいということではありませんが、この取りまとめは、来年以降、7年、8年ぐらいからの3年間にするのか、5年間ぐらいにするのか、そういう取りまとめ案をつくっていらっしゃるようです。

そういったことで、なかなか全国一律に地域の状況が合っていないということがありますが、長与町に2年ぐらい前に参観に行ったりしました。参観して、長与町のようにどこでもできるかという、これまたちょっと地域の実態が違ったりしますので、同じようにはできないところがありまして、やっぱり地域の実態に応じて、地域クラブ活動をどう運営していくかということが今後議論されていくということになります。

以上です。

○教育長職務代理者

ありがとうございます。今年度までの取組、また来年度以降の情報等を教育長さんより提示をいただきました。

1番から4番まで内容がありますが、何か議会答弁のこともちょっと出されましたが、内容を含めて御質問がある教育委員さん、挙手をお願いします。ないですか。

私からですけど、先ほど教育長さんから3番のこども教育会議、11月にありますので、まだ期間はありますが、内容が不登校対策ということで、これまでも市長さんはずっと関心を高く持っておられて、武雄市の取組に前向きにされています。我々教育委員も勉強はしているつもりですが、なかなか先ほどの教育長さんが提示された7年度の文科省の予算の中身とかも、もう一回自分たちで調べればすぐ分かることでありますけど、武雄市が考えておられるようなことがありましたら、また武富指導主事さんたちと一緒に11月前に勉強会でもも

しかするとお願いするか分かりませんので、その節にはまた御協力ください。

お願い事でしたけど、何かほかに最新情報等々の内容でございませんか。A委員さん。

OA委員

学習指導要領の有識者検討会の意見を広く集めたりとかということもあったりするんですか。

○教育長

もうしばらくしてから、ある程度の方ができてからだと思います。

OA委員

はい分かりました。

○教育長職務代理者

よろしいですかね。我々教育委員のほうも早め早めにこういう情報あたりを受けていけたらいいかなと思います。

また、資料3の部活動の地域移行から、地域連携であったり、先ほど教育長が言われたように地域クラブ活動という名称も少し柔軟というか、幅広くなりつつもあります。

ただ、PTAの会長さん、育友会の会長さんたちとの話では、最近、これがまた特にメインの話題にも上がってはいるので、地域の中学校区の保護者あたりからは教育委員に質問があつたりとかいうことは当然これから先増えてきょうかなとは思っていますので、これも併せて一緒に勉強できたらと思いますので、執行部の先生方にもまたお力をお借りすると思います。よろしく願いいたします。

なければ、先にひとまず進んでおきましょう。

それでは5番の議事、公開ということで、3項目報告事項が上がっておりますので、一つ一つ進めてまいります。

まず、①令和7年度以降の官民一体型学校の在り方についてということで、新しい学校づくり課長さんのほうから御報告をお願いします。はい、どうぞ。

○新しい学校づくり課長

資料は2ページから3ページをお願いいたします。

資料に入る前に、これまでの経緯について御説明をしますが、昨年度、武雄市官民一体型学校評価委員会より、令和7年度以降の官民一体型学校の在り方についての提言を受けまして、今年3月に武雄市教育委員会として方針を定めたところです。その方針に基づきまして、今年度小学校の全教員を対象にした教育講演会を開催するなどした上で、各校でしっかり協議、検討いただき、回答されました意向調査の結果を本日は報告申し上げたいと思います。

資料の2ページをお願いします。

各学校の意向調査の結果を表にまとめております。表のほうにありますように、一番上段ですが、花まるタイム、なぞペー授業、青空協室、3つのメソッドについて、各校が実施を

希望するかどうかということの回答の結果となっております。

若木小から橘小までの6校については、朝の花まるタイムを実施することについて希望をされております。実施については週2回ということで、それに対し地域の支援について各校の違いがありまして、若木小、東川登小、武内小、橘小については週2の実施に対して地域の支援も週2回、西川登小は週2の実施ですけれども月4回、朝日小は月2回の地域支援を希望されている状況です。また、朝日小学校については、1・2年生のみの花まるタイムの実施の希望となっております。

次に、花まるタイムは実施しないが、なぞペーや青空協室を実施したいとする学校が4校ございます。また、いずれも実施しないという学校が山内西小の1校となっております。北方小については、青空協室の際に地域支援をお願いしたいという希望がっております。

次のページをお願いします。

今後の流れになりますが、現在、学校の希望が出ましたので、その後、今週、議会や、あと代表区長会、各町公民館のほうに同様に報告をしまして、学校の意見を踏まえた地域支援の内容について各町の地域学校協働本部において今後決定していただく予定となっております。その期限が11月下旬をめどにと考えておりまして、その後、来年度に向けて予算要求等の準備を行っていきたいと考えているところです。

説明は以上になります。

○教育長職務代理者

ありがとうございます。

2ページ、3ページを通しての御説明がありましたが、今日は内容的にはちょっとその他の項目で1つ追加がありますけれども、内容は多くありませんので、この辺については報告内容でもありますので、委員さんあたりから少し中身に入り込んで。

じゃ、まずB委員さんからどうぞ。

OB委員

今回の意向調査の結果を踏まえた上で、今後また話合いが行われて決まっていくとは思いますが、実際に各学校の意向調査の希望があった部分を全て実施していくというのは、今の花まるの学習指導員2名の体制でやっていく、令和7年度以降効果検証を図っていくとなると厳しいんじゃないかなと、今回の全て対応を実施していたら、ちょっと思ってしまったりするんですね。そこは市内全校が基本的に希望すれば実施するということがありきで進めていく話なのか、もしくは、今回の中でやはり地域の協力もあって、花まる学習に積極的に取り組む意向がはっきりと示されている若木小学校とか武内小学校を絞ってというか、花まるタイム、なぞペー、青空協室を全てしっかり指導員も2人、各校個別に入ってやって効果検証していく。その後、中学校自体も、武雄北中に行かれるので、卒業後の効果検証も図りやすいとは思いますが、そういった形というのはできないんですかね。検討はされ

ているんですか、そこら辺も。

○教育長職務代理者

新しい学校づくり課長さん。

○新しい学校づくり課長

今回、あくまでもやはり提言でいただいたのが、各学校の現状に合わせて、希望に沿った実施をしていただくということを最優先にすべきと考えておりまして、この表にありますように、各校の先生方での御協議をいただいた上での回答になっておりますので、各校の希望に沿った実施に向けて、今後予算等々も含めたところで準備をしていきたいと思っていますところですよ。

○B委員

分かりました。

○教育長職務代理者

関連してよろしいですか。A委員さん。

○A委員

関連してというか、この案件の話ですけど、以前いただいた提言を家に帰って見ていて、このままの形で授業を受けることは教職員の理解を得ることは難しく、こういう決定をされた各小学校がどういう理由でされたかというのは意見をいただいたりというのはあるんでしょうか。

○教育長職務代理者

今の質問に対して新しい学校づくり課長さん。

○新しい学校づくり課長

すみません。もう一度お願いします。

○A委員

すみません。今の形での計画は難しいという教職員の方の理解、教職員のそういう意見があると書いてあるので、花まるタイムをしないという学校もありますので、こういうところがちょっと難しいみたいな理由といいますか、何かそういうのも各学校からは言ってきているんでしょうか。

○教育長職務代理者

新しい学校づくり課長さん。

○新しい学校づくり課長

すみません、具体的な聞き取りまでは行っていないところです。

ただ、総合的にやはり朝の時間、各学校全体の教育活動を考えた上で決定をされたものだと考えております。

○A委員

すみません。関連してですが、これを見ますと、教育ビジョンというのが書いてあって、たくましく自立できる人間を育むというので、あと、「個」の力を最大限に生かすと書いてあるんですけど、その教育ビジョンを新たに令和7年度から実施するに当たって、もう一度検討し直すということはあるのでしょうか。それともこのままの現状の形でいかれるのでしょうか。

○教育長職務代理者

新しい学校づくり課長さんどうぞ。

○新しい学校づくり課長

この事業の趣旨というところでしょうか。

○A委員

趣旨というか、目的ですよ。どういうことを目標にしてこの官民一体学校をするのか、また新しい形で再スタートと思うんですが、もう一度教育ビジョンというか、その背景、どういうことを子どもたちに身につけてほしい、どういうふうに育ってほしいかという理念みたいなものは現状のままかどうか、それとも考え直されるのか。

○教育長職務代理者

新しい学校づくり課長さん。

○新しい学校づくり課長

10年前にスタートしたときの設立趣旨ですので、そこは変わらずこのまま、花まる学習会あつてのこの事業と思いますので、変更する予定はございません。

○教育長職務代理者

よろしいですか。A委員。

○A委員

この教育ビジョンを見ますと、「個」の力を最大限育むというので、自己を肯定する力とか達成とか8つありますが、これは私の意見ですけど、今ICTで進めていて、リーディングDXですか、自分で決定する力というのもあるので、そういうのも入れていただけたらなと思います。

あと、自分の意見を表現する、伝える力とか、そういうのもないので、あつたらどうかなと。でも、それはまたこの官民一体とは別で考えられているのか、これにははまらないのかというのもあると思うんですけど、そういうのがあつたらどうかなという意見です。

○教育長職務代理者

新しい学校づくり課長さん。

○新しい学校づくり課長

大きな武雄市の教育ビジョンの考え方として、そういった主体的に学ぶとか自己決定とか、そういったところはリーディングDX、その他の活動だったり、どの学校も学校教育の活動

の中で目指しているところです。その中で、あくまでもこの官民一体型学校は様々な取組の中の一つであって、この官民一体の取組については、今まで設立趣旨に述べてきたようなビジョンは変わらずと考えておりますので、大きな武雄市の教育となると、もっと広いビジョンになるのではないかと考えております。いかがでしょうか。

○教育長職務代理者

A委員さん。

○A委員

すみません。前の資料で申し訳ないですが、卒業アンケートを1回取られています。卒業生とかでマイナスというか、評価の低かったところをばっと見たんですが、例えば、自己肯定感を図っているところで、自分らしさを強調するより、他人と同じことをしていると安心だとかという項目があって、自己肯定感というのを、何か自分らしさを強調するより、ちょっと違和感があって、あと我慢力とか責任感のところを評価するのに、親しい人に頼まれてもやりたくないことは断るとか、それが我慢力とか責任感を評価するみたいな感じでのアンケートになっていて、どういうものを目指しているのかなというのがちょっと見えなかったんですね、このアンケートの項目から。なので、できれば官民一体で目指す教育ビジョンというのをもう一度再考していただけたらなというのが意見です。

○教育長職務代理者

ありがとうございます。

今はちょっとそういうのを参考に入れてほしいということでの話なので、当然、教育委員会で最終的には決定して、議会等々を含めて予算が絡むので、スケジュール的には9月、10月あたりでさらに煮詰められたりする中で、教育委員会が、例えばこういう学校でやるということあれば、今のような要望は当然参考にされるということですよ。そういう意味を含めてということでしょう。そういうビジョンをもう一回。

○A委員

予算的なことはちょっと分かりませんが、実施すること自体はそう決まったということだと思いますが、もう一度新たに再スタートということで、もう一回立ち返ってビジョンを検討していただけたらなということです。

○教育長職務代理者

ちょっと中身が少し見えなくなっていますが、課長さんから補足するような内容はありますか。よろしいですか。

じゃ、ほかの質問を兼ねるかも分かりませんので、ちょっと手も上がっていますので回します。C委員さん。

○C委員

質問ですけれども、この意向調査の結果については、学校の先生方、管理職も含めて、校

内での協議の上、回答されていると理解しております。地域とか公民館への周知を今からということで、地域との話し合いがあっているのかあっていないのか、学校独自の回答なのかどうか、お尋ねしたいと思います。

○教育長職務代理者

新しい学校づくり課長さん。

○新しい学校づくり課長

今回はやはり教育の観点からまず学校で決定してくださいということをお願いしております、基本的には学校内で協議をされた結果です。学校によっては、少し地域の意見も聞かれている様子のある学校もありましたが、基本的には学校の教育的観点からまずは検討いただいた結果ということです。

○OC委員

幾つかの学校で花まるタイムに参加してみて、コロナの影響とかで途中空白期間があったりして、なかなか学校によってはスタートが遅れて支援員が集まらなかったりしたところもあるものですから、ようやく各学校軌道に乗ってきたところもあるなという感じをしております。

その中で、学校の考えと地域の支援員の考えがちょっとずれているなど。学校の考え方がどうか、支援員の考え方はどうという、具体的には分かりませんが、もっと話し合いがあつてよかったのかなというところがあります。

こういうふうに様々なやり方が入ってきて、学年も対象学年を絞ったりして一歩前進してきているのかなとは取れるんですけども、やはり一つの課題として、この10年間の間に教材の固定化が起こっているんじゃないかというところがあります。

実際、花まるタイムの教材を見ていて、もっと先生方の意見を取り入れて、5年目とか、今回、今後の3年間でいいですけども、もう少し教材を一緒につくっていくとか、使いにくいところとか、学習内容に合っていないところとか、そういったところが散見されますので、そういった教材を修正して、先生方にも使いやすい花まる教材になればいいなというところを最近感じております。

全国的な展開ですので、急に教材を替えるといっても難しいところはあるかもしれませんが、やはりそういうタイムリーな教材であつてほしいなといったところと、何か柔軟性に欠けているところがあつて、もっと子どもたちが取り組みやすい教材ができるんじゃないかと、その趣旨を生かしながらですね、そういったところを感じます。

例えば、小学校2年生、3年生に古文の暗唱があつたり、旧仮名遣いの古文が出てきたり、声を出しているうちにだんだん慣れるというのは非常にいいことですが、その反面、じゃ、教育的な効果はどうだろうかと思うところもあつて、まず日頃の国語の学習をきちんとやった上で、古文、漢文でもいいのかなと思ったりするところもありましたし、いろいろ

教材の柔軟性がもっと出てくれば、もっと花まるタイムの理解が進んで、先生たちも喜んで取り組むようになるんだろうけれども、どうしても教材が日頃教えている教科書とかけ離れているもんですから、そういったところに先生たちの距離を置きたいという気持ちがこの調査に表れているのかなといったところもあります。

なかなか朝の時間が健康観察であったり、出席確認であったり、いろいろな家庭との連絡を取らないといけないという忙しい時間帯であることは十分承知しているんですけども、やり方によってはこの花まるタイムはいいなと思うところもたくさんありますので、取組ができないところもあって残念ではあるんですが、各学校の話合いの結果ですので、それは尊重すべきと思うんですけども、今後の3年間の中でどうしてできなくなった学校があるのかというところもしっかり振り返っていただきたいなと思います。要望です。

○教育長職務代理者

要望ということでお聞きください。

私からも1つですけど、これは本当に9年、10年としてきているわけで、大体いろんな事業が3年、5年で振り返りをされたり、それはメリットというか、そういうのがあって教育委員会部局、市民を含めて学校も取り組まれてきました。

ただ、予算が絡むことなので、多分我々一人一人も少し考えの違いもあるだろうと思うんですけど、その地域差についてはこれまでも出てきたことで、ここの2ページの早見表に上がっているようなのが多分早めの取組で成果があったという評価の中で、学校がまたこういう要望を出す。

ただ、最後は大きい学校、御船が丘小学校あたりはなかなか実行に移せないまま振り返りをして、ここに出されているような結果が教職員なり学校長の考えが出てきているという、この差というのは率直に受け止めなければいけないわけでしょうけど、ただ、今後教育委員会が方向性として、例えば、上のほうがやるということであれば研究していこうみたいな形で、先ほどB委員が言われたような、これから6年度の終わりまでという結果が出るか分かりませんが、それは当然予算化をされるために、教育長さんなりがしっかりと議会で説明をして、指定校みたいな形でされるものなのか、もうここで、ここ数年の中でも取りやめよという教育委員会の方向性になるのか、そこは私も分かりませんが、やっぱりこれまでの成果というのはしっかり見ていただきたいし、地域性というのがありつつも、研究指定校だって当然やっていることなので、教育委員会としては、全面的にやっぱり予算獲得のための御努力はしていただきたいなという私なりの思いを伝えて、この件、ほかになれば終わりますが、何かありますか。B委員さんどうぞ。

○OB委員

花まるのこういうメソッドを学校側にもしっかりと伝えていく上で、やっぱり花まる学習指導員の方は重要なキーポイントになると思うんですけど、今回、小学校11校の中で10校が

実施をある程度意向で示されている中で、やはり指導員2名というのはちょっと少ないとは思うんですね。今後、花まる指導員の増員とか、そういうことは検討されていたりするのでしょうか。

○教育長職務代理者

そこはどうでしょうか。新しい学校づくり課長さん。

○新しい学校づくり課長

この決定をするに当たって、今年度は最初から花まる学習会側とも協議を進めてきておりますので、今のような人員だったりとということも、今、花まる学習会側にもきちんと話をして、2人で人員が足りるのかどうかも含め検討をいただいて、また回答をいただくということで、正式に文書もやり取りをしながら進めておりますので、ここは学校の意向に沿うように私たちも予算の要求はしていきたいと考えているところです。

○教育長職務代理者

よろしくお願ひしたいということで、教育委員さんいいですか。

では、9月は終わりましたので、12月の議会あたりが特に話題になってこようかと思ひますので、教育委員もしっかりと見ていきたいと思ひています。

それでは、先に進めていきます。

②は図書館の選書についてということで、事前にもうお渡しいただきました。紹介がっておりますが、このことについて質問なり補足なりございましたらお願ひいたします〔「なし」と声あり〕。

ないようですので、新着資料等を後もってまた目を通してください。

それでは、③の各課等からの行事報告ということで17ページからございますが、行事報告、行事予定、補足、説明等ありましたら挙手をお願ひいたします。どちらの課からでも結構かと思ひますが、委員さんたちのほうから中身をお聞きしたいような内容はございませんでしょうか。

学校訪問関係については、これは特別にということではないですか。

○こども教育部長

はい。

○教育長職務代理者

教育委員さんからほかにその他ございませんか〔「なし」と声あり〕。

それでは、時間は結局1時間になってしまひましたが、いろんな要望等出しましたが、一緒にまた教育委員も勉強させていただきますので、今後ともよろしくお願ひします。

以上をもちまして9月の定例教育委員会を終了させていただきます。ありがとうございました。

午後3時51分 閉会